

編集後記

12号をおとどけします。今号に発表要旨を掲載しましたように、2009年12月に、東北大学をお借りして研究集会「宋元史料研究の現況」を開催しました。今回の研究集会では、我々と古くから交流のある、中国社会科学院歴史研究所の劉曉さんにもご報告をいただきました。劉さんのご報告については、近号に掲載させていただく予定であります。また、村岡さん、渡邊久さんに調査報告をお寄せいただきました。いつも書きますように、石刻の現存状況、所在地については、現地に行かないと情報を得られないことが多く、こうした報告は、このNEWSLETTERの柱であると考えております。

ところで、本誌9号に掲載されました、松田孝一さんの『事林広記』「皇元朝儀之図」解説補遺の1頁目の本文10行目の「福岡県立」は、「長崎県立」の誤りでした。訂正させていただきます。

本科研の研究代表は村岡倫さんですが、編集は森田憲司がおこなっておりますので、本誌についてのご連絡は森田までお願いいたします。

(もりた けんじ)

13、14世紀東アジア史料通信 第12号

2010年2月発行

編集 森田憲司

発行者

日本学術振興会科学研究費補助金基盤研究（B）

「中国社会へのモンゴル帝国による重層的支配の研究
元朝史料学の新展開をめざして」研究グループ

(代表 村岡倫)

連絡先

〒631-8502 奈良市山陵町1500

奈良大学文学部史学科 森田研究室

Newsletter on Historical Documents
in the 13-14th century East Asia

No.12

February 2010

Edited by
KENJI MORITA

Published by
Research Project on "Chinese Society under the Multi-Rule of the Mongol Empire"
Granted in Aid for Scientific Research of JSPS, Basic Research B

Kenji Morita, Department of History, Faculty of Letters, NARA UNIVERSITY, 1500 Misasagi, Nara
JAPAN